

「地域に根ざした開かれた学校づくりの推進」に関して
令和3年度 学校評価アンケートの結果及び分析(%表示)

評価の基準 A:よく当てはまる B:だいたい当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったく当てはまらない E:わからない

観点	番号	内容 (※ ☆は運営協議委員会用の質問内容、保護者への質問は児童をお子さんへと変更している。)	教師					保護者					学校運営協議委員会					児童					総計					考 察(学校)	考 察(学校運営評議委員会)
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
基礎・基本の確実な定着	1	基本的な学習習慣の定着と児童が主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、単元テストにおいて全国平均を80%の児童が上回るようにする。 ☆学校参観から、児童は授業に真剣に学習に取り組んでいる。	0	72	14	0	14	66	29	0	0	5	100	0	0	0	0	61	33	3	3	0	58	34	3	1	3	各種テストの結果をもとに児童の実態分析に努めるとともに、授業改善4+4を意識して算数科を中心に各担任が研究授業を行った。実践を通して得られた成果や課題を分析し、更なる学力の向上に努めてきた。今後も、小規模校という特性を生かして、個に応じた指導の充実を図り、個々の課題に応じた指導法の改善や学ぶ意欲を高める手立てについて研究に努めていく。	読み聞かせの継続活動や読書に親しませる機会を多くする指導がなされていたため、本に親しむ児童が増えているようです。また、読書感想文などの紹介などもあり、より一層読む意欲が高まっていると思われす。想像力が付き、優しい心も更に育まれていくことに期待しています。 どんな本でもいいので、本を読もうとする事を身に付けさせることが大切だと思います。
	2	個に応じた指導や言語活動の充実を図るなど授業改善に努め、児童・教師相互・保護者による授業評価で肯定的な評価が80%以上になることを目指す。 ☆学校参観から、児童は、授業を通して学習内容の理解を深めている。	0	43	43	0	14	50	45	0	0	5	100	0	0	0	0	67	27	6	0	0	56	33	8	0	3	学習習慣の定着については、保護者、協議委員会から良い評価を得ることができた。タブレットやパソコンの積極的な活用等により、児童の学習意欲の高まりがみられるようになったことも大きい。今後も継続的に指導法の工夫や改善を行っていく。	コロナ禍の中で大変な思いで取り組んでおられます。更に、家庭や地域の協力を得ながらの推進は望ましい方向性と思われす。 タブレットを利用した授業を積極的に進めながら、子ども達に正しい使い方身に付けてきて、学習意欲を高めていってほしいと思います。 少人数学級のため、児童と先生がマンツーマンで指導ができています等、小規模校の良さが生かされていると思われす。
	3	図書環境を整備し、読書活動を推進するとともに、表現活動の場の工夫や作品応募に積極的に取り組み、自分の思いや考えを表現する力を伸ばす。 (進んで読書をしている。) ☆児童は、本に慣れ親しみ、進んで本を読もうとしている。(読書量のデータの紹介)	0	58	28	0	14	20	30	25	20	5	33	67	0	0	0	72	14	8	6	0	47	26	15	9	3	読書活動の推進、表現力を伸ばす活動の推進を図ってきた。今後も、一層、家庭や地域を巻き込んだ取組を推進していく必要がある。	読書活動の推進、表現力を伸ばす活動の推進を図ってきた。読書については、家庭の読書環境も大切だと思われす。また、内容の浸透のためにも返却の時に、一行感想欄を設けて、一言ずつでも記入するのはいかがでしょうか。
基の育成的な生活関わりや豊かな習慣	4	元気なあいさつ・返事、正しい言葉遣いができ、廊下歩行等のマナーを守るようにする。 ☆児童は、学校や自分たちの住んでいる地域で、元気なあいさつや返事、正しい言葉遣いができ、きまりを守って生活している。	14	58	28	0	0	9	68	18	5	0	67	33	0	0	0	53	25	16	6	0	36	42	18	4	0	中学校との連携を図った「小中連携 あいさつ運動」では、元気よくあいさつする姿が見られた。元気の良いあいさつを地域や家庭に広げていくためにも、継続的な呼びかけなど、意識をより高めしていく手立ての工夫を図っていく必要がある。	見守り活動をしていると、みんな元気の良いあいさつをしています。学校が休みの日でも、友だちと遊んでいる時でも、あいさつしています。 まちづくり協議会のあいさつ運動も、子ども達が頑張っている姿を見てうれしく思います。ボランティアを含めてこれからも継続してほしいです。 子ども達からの明るい元気なあいさつで地域の大人達から、「元気をもらえてうれしい。」との声を耳にします。あいさつ一つで気持ちが伝わるので「あいさつ運動」を今後も継続していきいきたいと思います。
	5	清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組めるようにする。 ☆学校参観から、児童は、清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組んでいる。	67	43	0	0	9	73	9	0	9	100	0	0	0	0	64	27	6	3	0	48	42	6	1	3	毎週火曜日の朝に、除草や落ち葉拾いなどの校内の美化に向けてボランティア活動に取り組んでいる。これまでの継続的な取組により、ボランティアや校内の美化に対する意識を高めていくことができた。清掃活動への取組も素晴らしく、ファミリー班(1〜6年)で互いに協力し、自分の役割を果たしながら一生懸命に清掃活動を行っている。この実践を今後も継続していきたい。	「あいさつ運動」に直接参加させていただいた。一般に向けての「あいさつ」の必要性の意義、そしてその行為から得られるものの指導を深められたらより良いと思いました。	
	6	人権教育・道徳教育の充実を図り、自他の生命の尊重と他を思いやる心を育てるとともに、思慮深く善悪を判断して行動できるようにする。 ☆学校参観や地域での活動から、優しく人に接し、親切にするとともに、時と場を考えた行動ができている。	28	58	14	0	0	29	53	9	0	9	67	33	0	0	0	44	39	6	11	0	39	45	7	6	3	言葉遣い・廊下歩行などにおいては、まだ、十分ではないので、今後も時と場に応じた適切な言動ができるように継続的に指導していく必要がある。	あいさつ運動では、元気なあいさつが開かれるが、それ以外はその時々によって態度が異なることも感じられる。 清掃の雑巾掛けで、木目に沿ってではなく、直角に拭く姿が時々見られ、声かけしているが、まだ浸透していないように感じられる。 人権教育の一環としての性教育、自分や他人を大切にすること等は、どの程度行われているのか。
向健上・関心・全体的な力の向上	7	安全指導の徹底を図り、命を大切にすること、態度を育成する。 ☆学校参観から、児童は自分や友達のことを大切に、安全に気を付けて生活している。	43	57	0	0	0	29	62	9	0	0	100	0	0	0	0	77	11	3	6	3	60	32	4	3	1	各種訓練の計画的な運営や常時指導により、安全指導の徹底を図っていくことができた。また、養護教諭を中心とした保健指導の充実により、健康面や食育に関して児童の意識を高めていくことができた。	3校合同の青井岳登山では、友だちもできていた。楽しかったことや苦しかったことがよい思い出に残ると思う。 体力向上のために体を使った運動をいろいろやっています。 コロナ禍で、かつて経験したことのない子ども達への指導には難しいものがあると推察できます。コロナ感染防止の観点から、子ども達の知恵を引き出す指導にも力をいれることよいのではと思います。 季節ごとに児童と大人のボランティアが一緒に「花植活動」をしており、環境作りによく努めていると思われす。
	8	保健指導や食育の充実を図り、健康に生活できる力を育てる。 ☆学校参観から、児童は、健康や安全に気を付けて生活している。	14	86	0	0	0	25	70	5	0	0	67	33	0	0	0	60	25	6	3	6	46	46	4	1	3	このことは、児童のアンケート結果からからもうかがえる。サーキットトレーニング・体づくり運動の実践、縄跳び運動など、基礎体力の向上に向けて、コロナ対策を行いながら、継続的に進めていく必要がある。	見守り活動では、児童の安全を守るための活動が続いています。今後、登下校のコースの危険箇所や不審者対策など、大人や児童に認識させたい取組が必要ではないでしょうか。
	9	体力向上プランに沿って、体育科学習指導や教科外における活動の充実を図り、児童一人一人の課題となっている体力の向上に努め、スポーツテストのA・B・C判定90%以上を目指す。 ☆学校参観から、児童は、進んで運動し、自分の身体をきたえている。	0	58	28	0	14	24	38	33	5	0	33	67	0	0	0	55	30	6	3	6	39	37	16	3	5	コロナ禍で、いろいろな行事が制約を受けるであろうなかで、合同運動会が立派にできてよかったと思われす。 食育の一環として弁当の日はどうなっているのでしょうか。年に何回かは、例えばおにぎりだけの弁当にして親子で工夫して作るのも大事ではないでしょうか。	
学地域・根ざした関わり	10	保護者や地域の方の評価や意見を受け、連携して教育活動にあたり、保護者や地域の方の期待に応える学校づくりを推進する。 ☆学校は、学校の教育活動について適切にお知らせをするともに、地域の方々からの要望に対して適切に対応している。	43	57	0	0	0	35	59	0	0	6	100	0	0	0	0						44	62	0	0	4	コロナ感染防止の観点から、計画を進めていく上で、活動内容が制限されてしまった。 学校便りや学級通信、学校ホームページ、連絡メールなどを通して、学校の教育活動の情報発信に積極的に努め、家庭や地域と連携を図りながら、教育活動を進め、保護者の方の理解を深めていくことができた。	ホームページも写真付きできども見やすく、いろいろな情報が分りやすく発信されています。伝統文化子ども達にはがんばってもらい、これからも続けてほしいです。 拡大運営協議会開いたことにより、地域の友達や学校の協力意識が高まり、連携が図られてきた。学校の清掃、剪定、合同運動会、田植え、稲刈り、脱穀、餅つきなど、大勢の協力がありました。 コロナ禍であって、活動のつづらきあつたが、保存会会員の協力により、児童の人形浄瑠璃の伝承活動も可能な限りの活動ができてよかった。
	11	文芸部・人形浄瑠璃の伝承活動から地域との交流や体験活動に取り組むとともに、地域の人材や施設・文化財を積極的に活用し、ふるさとを愛する心や感動する心、感謝する心を育てる。 ☆学校は、地域の伝承活動(人形浄瑠璃など)や行事に積極的に取り組んでいる。	28	72	0	0	0	59	29	12	0	0	100	0	0	0	0						56	37	7	0	0	地域との合同運動会・人形浄瑠璃やもちつき大会・ぜんざいなどのふるまいなど、地域と連携を図った教育活動を進めてきた。地域や家庭との深いつながりが、よい評価へとつながっている。	他校とは、若干は違うのかな?と思われす。総合的な学習での地域との連携を取りながらの「人形浄瑠璃伝承活動」等ももっと評価されてほしいと思います。一方に向けての子ども達の牽引力がすごいと思います。 人形浄瑠璃伝承活動は、コロナ感染対策で、足な練習もできないが、みんなよく頑張っている。
	12	保育所・近隣の小学校・中学校との連携と相互評価を深め、系統性・一貫性を意識した共通指導と個に応じた指導を充実させる。 ☆学校は、地域の保育所・小学校・中学校・地域との連携を深めて教育活動に取り組んでいる。	14	43	43	0	0	19	43	25	0	13	100	0	0	0	0						27	38	27	0	8	山・之口町内の学校間の連携については、対面的な交流活動を進めていくことはできなかったが、限られた状況のなかで、オンラインの活用などを通して連携を進めていくことができた。今後も、コロナ禍のなかで、相互の交流が図れるような教育活動の工夫を図っていきい。	学校便りが全戸に配布されることで、子ども達の様子を地域全体が知ることができ、大変よいことと思われす。 いろいろな場面で、地域との交流が多く、子ども達の地元への郷土愛が育っているのではないかと思われす。 人形浄瑠璃伝承活動にも頑張っていたいただき、先生方の苦勞に感謝いたします。
意見等																													